

政務活動費収支報告書(その2)

令和7年度政務活動費収支報告書

(会派名)公明党

1 収 入

区 分	金 額	備 考
政 務 活 動 費	180,000円	令和7年4月～令和7年9月までの6か月分
合 計	180,000円	

2 支 出

区 分	金 額	備 考
調 査 研 究 費	180,000円	・ 7/22(火)～7/24(木) 行政視察(富山県富山市、長野県大町市) 交通費、宿泊費、貸切バス代 (計180,000円)
研 修 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要 請 ・ 陳 情 費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
そ の 他 の 経 費		
合 計	180,000円	

※ 備考欄には、主たる支出の内訳を記入する。

3 残 額 0円

政務活動費出納簿

整理 番号	年 月 日	内 容	収 入	支 出	支出内訳									残 額	備 考
					経費項目別内訳										
					調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情費	会議費	資料作成費	資料購入費	その他の経費		
1	R7.5.15	令和7年度政務活動費(4月～9月)	180,000											180,000	
2	R7.8.13	令和7年7月22日～7月24日 行政視察(富山県富山市、長野県大町市)旅費 交通費、宿泊費 ※旅費の一部を政務活動費として支出		180,000	180,000									0	
3															
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
		合計	180,000	180,000	180,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※年月日は収支事実があった年月日を記載する。
※内容には、政務活動が特定できるように、年月日、場所、活動内容などが明確にわかるように記載する。

項目別内訳	内容	支払先	金額
調査研究費	行政視察 旅費 (交通費・宿泊費) 一人あたり108,830円×2名=217,660円 ※旅費217,660円のうち、180,000円を政務活動費より支出し、37,660円は自己負担。	秋田ツアーズ	180,000円

領収証等

領 収 証		大仙市議会 公明党		様 No. _____	
金 額		217,660			
内 訳	但 視察研究費				
現 金	R7 年 8 月 13 日 上記正に領収いたしました				
小 切 手	秋 田 ツ ア ー ズ				
手 形	(社)全国旅行業協会会員 秋田県知事登録旅行業第3-162号				
消費税額等(%)	〒014-0066 大仙市川目字川目121番地4号				
消費税額等(%)	携 帯 電 話 : _____				
	総合旅行業務取扱管理者 _____				
	登録番号 登録番号 T8810695346764				

GR266324

2025年8月7日
NO 25043

振込先 ☐ ☐

(様式第2号)

会派政務調査活動（行政視察）報告書 (総括)

会 派 名	公明党
会派の代表者名	秩父博樹
視察(調査)期日	令和7年7月22日～令和7年7月24日
視 察 (調 査) 先	富山県富山市ガラス美術館、長野県大町市八坂美麻学園
視察(調査)の目的 (大仙市の現状と 選定理由等)	・ まちなか活性化、産業振興、文化政策について (富山ガラス美術館) 本市には、全国的に知名度の高い“大曲の花火”があり、この花火の伝統文化を継承する資料館（はなびアム）も設置され、花火を核とした、更なるまちなか活性化、産業振興、文化政策を推進していきたいと考える。富山市ガラス美術館は、単に美しいガラス作品を鑑賞する場にとどまらず、富山市のまちなか活性化、ガラス産業振興、そして文化政策推進の強力な牽引役として機能しているとのこと。そこで、富山市の取り組みについて御教示いただき、本市の今後のまちなか活性化、産業振興、文化政策の参考としたい。 ・ 山村留学について(八坂美麻学園) 少子化が急速に進んでいる大仙市において、山村留学の制度は検討に値すると考える。実際に山村留学を受け入れている小中学校の授業風景、留学生活を送る子どもたちの居住施設、そして彼らを支える地域の方々との交流の様子を伺い、本市の今後の取り組みの参考としたい。
視察(調査)の行程	22日・大曲駅～大宮駅～富山駅～富山市ガラス美術館(13:30～15:00)～富山マンテンホテル泊 23日・富山マンテンホテル～富山駅～扇沢駅～八坂美麻学園(15:00～17:00)～ホテル長野アベニュー 24日・ホテル長野アベニュー～長野駅～大宮駅～大曲駅
視 察 (調 査) へ の 参加議員名	秩父博樹、挽野利恵

視察(調査)概要	・ まちなか活性化、産業振興、文化政策について（富山ガラス美術館） ・ 山村留学について（八坂美麻学園）
視察(調査)の成果と本市に反映できる事項或いは反映させたい事項について	・ まちなか活性化、産業振興、文化政策について（富山ガラス美術館） 富山ガラス美術館は、複合施設「TOYAMA キラリ」内に立地し、その特徴的な建築デザインがランドマークとなり、中心市街地の活性化に貢献している。これを参考に、はなび・アムでも以下の3つの取り組みを提案したい。 ①（まちなかアート回遊路の創出）富山市の「ストリートミュージアム・プロジェクト」のように、大仙市内の公園や公共スペースに花火をモチーフにしたアート作品（地域ゆかりの作家によるものなど）を常設展示し、はなび・アムへの回遊性を高める。これにより、まちなか全体が「花火のアート空間」となり、来訪者の滞在時間を延ばし、周辺地域への経済効果を促進する。 ②（周辺施設との連携強化）入場券を有料化し、周辺の商店街や飲食店と連携し、はなび・アムの入場券提示で割引を受けられるサービスや、花火をイメージした特別メニューの開発などを推進する。また、観光案内所などと連携し、はなび・アムを核とした観光ルートを提案する。 ③（夜間イベント・ライトアップ）「大曲の花火」開催時以外にも、はなび・アムの建物や周辺を花火をイメージしたライトアップで演出し、幻想的な夜の景観を創出する。これにより、夜間の誘客や新たなフォトスポットとしての魅力を高める。 ・ 山村留学について（八坂美麻学園） 大仙市は、広大な農地や雄物川、真木真昼県立自然公園などの豊かな自然、そして全国的に有名な「大曲の花火」をはじめとする文化資源、米や大豆などの農業資源が豊富である。一方で、少子化による児童生徒数の減少、学校の小規模化、校舎の老朽化の課題などが挙げられる。これらの大仙市の特性と課題を踏まえ、八坂美麻学園の成功事例から学び、以下の取り組みを提案したい。 ①（農業体験の充実）大仙市は米や大豆の産地であるため、稲作、

	畑作、季節ごとの野菜の収穫など、年間を通じた本格的な農業体験をプログラムの中心に据える。収穫した農産物を使った加工体験（味噌作り、漬物作りなど）も取り入れ、食の循環を学ぶ。 ②（自然体験の多様化）真木真昼県立自然公園での森林散策や自然観察、冬の雪遊び（かまくら作り、スキー・スノーシュー体験など）など、四季折々の自然を満喫できるプログラムを用意する。 ③（地域文化の継承）「刈和野の大綱引き」やその他地域に伝わる小正月行事への参加、伝統工芸体験（樽岡焼など）、地元で伝わる昔話の聞き取りなど、大仙市独自の文化を体感し、地域住民との交流を深める機会を設ける。特に「大曲の花火」に関する学び（歴史、制作過程の一部体験、花火師との交流など）は、本市ならではの貴重な体験となる。 ④（廃校舎の活用）少子化で増える廃校舎を山村留学の拠点施設として活用する。改修して滞在施設や体験活動の場とすることで、地域活性化にも繋がる。 ⑤（地域住民との協働体制）八坂美麻学園の「里親制度」を参考に、地域住民が留学生を受け入れるホームステイ制度を導入する。これにより、子どもたちは地域に根差した生活を送り、地域の温かさに触れることができる。また、地域の高齢者や農家の方々を体験活動の指導者として巻き込み、多世代交流を促進する。 ⑥（家族での参加促進）短期留学では、子どもだけでなく家族も一緒に参加できるプログラムを設け、家族単位での移住や定住のきっかけ作りとする。
そ の 他 （会派としての総括的意見、上記成果への今後の取り組み等）	

(様式第4号)

会派政務調査活動（行政視察）旅費等明細書

(会派名 公明党)

視察(調査)期日	令和7年7月22日～令和7年7月24日			
視察(調査)先	富山県富山市ガラス美術館、長野県大町市八坂美麻学園			
参加議員名 (2人)	秩父博樹、挽野利恵			
旅費の額	鉄 道	利用路線	秋田新幹線・北陸新幹線ほか地方鉄道(往復・片道)	
		発 着	大曲駅(発)～ 大曲駅(着)	
		金 額	1人 48,390円× 2人 = 96,780円 ①	
	航 空	利用路線	(往復・片道)	
		発 着		
		金 額	②	
	バ ス タクシー レンタカー	利用区間	富山市内及び長野県内(小型バス)(往復・片道)	
		金 額	1人 24,200円× 2人 = 48,400円 ③	
	船 舶	利用区間	(往復・片道)	
		金 額	1人 円× 人 = ④	
その他	利用区間	黒部アルペンルート (往復・片道)		
	金 額	1人 10,940円× 2人 = 21,880円 ⑤		
宿 泊 費	宿泊先	富山市内 長野市内	1人 25,300円× 2人 = 50,600円 ⑥	
そ の 他	⑦			
合 計	①+②+③+④+⑤+⑥+⑦		= 217,660円	
1人当たりの旅費等の合計額		108,830円		

※ その他は、使途基準による視察先から請求される資料代、研修会参加費等である。